

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ガボン共和国月報(2023年6月)

2023年6月号

在ガボン日本国大使館

1. 内政・外交

- 1日、アリ・ボンゴ大統領は大統領府にて、ドン・ジン中国海軍司令官の表敬を受けた。同表敬では、特に軍事・防衛分野における二国間関係の強化や海賊との闘い等が議題に上がった(2日付けGMT)。
- 3日、アリ・ボンゴ大統領はトルコで行われたエルドアン大統領就任式に出席した。同大統領就任式には計78ヶ国の代表が出席し、そのうち元首は21名、首相は13名である(5日付けLL)。
- 20～23日、アリ・ボンゴ大統領はパリで開催された「新たな国際的開発資金取り決めのための首脳会合」に出席するため、フランスに渡航した。アリ・ボンゴ大統領はマクロン大統領と首脳会談を行ったほか、会談のマーゲンで韓国大統領特使と会談を実施した(22日及び23日付けUN)。
- 26日、アリ・ボンゴ大統領は大臣会合を招集し、ガボン選挙委員会(CGЕ)が提案した総選挙の日程を閣議決定した。これにより、2023年8月26日(土)にガボンで行われる選挙は大統領選挙、議会選挙及び地方選挙を同一日に実施する総選挙となることが決まった。今後は7月11日に全選挙の立候補者の立候補提出が締め切られ、8月11日に大統領選挙、16日に議会及び地方選挙のキャンペーンが開始され、8月25日に全選挙のキャンペーンが終了し、翌26日に投票という流れで進んでいくことになる(25日付けGR)。
- 27日、アリ・ボンゴ大統領は「コンゴ民主共和国(DRC)東部地域情勢に関する4地域共同体(中部アフリカ諸国経済共同体、大湖地域国際会議、南部アフリカ開発共同体、東アフリカ共同体)合同首脳会合」に出席するため、アンゴラの首都ルアンダを訪問した。アリ・ボンゴ大統領は、同会合でDRC東部の地域情勢安定化のため、3億セーファーフラン(約50万ドル)の拠出を発表している(29日付けLL)。

出典: GMT(ガボンメディアタイム)、GR(ガボンレビュー)、LL(ラ・リーブルビル)、UN(ユニオン)
(了)